

WOAH コラボレーティングセンター合同研修 「施策デザインのための疫学的エビデンスの翻訳」

目的:

本研修プログラムは、家畜衛生および公衆衛生分野の若手国家および地方公務員に対し、政策決定に役立つ重要な疫学的エビデンスを解釈するスキルを習得する機会を提供するものです。本プログラムは、WOAH 獣医疫学・公衆衛生コラボレーティングセンターであるマッセイ大学エピセンターと、酪農学園大学(RGU)のWOAH 食の安全コラボレーティングセンターが合同で実施します。研修資料は、獣医疫学に関連する様々な分野の学術論文です。講師陣は、疾病対策の有効性に影響する重要な知見を参加者が理解できるよう指導します。

オンラインでの参加予定者は、アジア太平洋地域の中央および地方政府の動物衛生・公衆衛生当局に勤務し、動物およびヒトの疾病対策に携わる職員です。研究者や大学院生も参加可能です。対面では北海道で開催しますので、日本の公務員、獣医師、研究者、大学院生、英語の疫学論文を読む実力のある学生は、興味があれば是非参加をご検討ください。

開催日：2026年7月22日(水)(家畜衛生) – 23日(木)(食品衛生)

場所：ハイブリッド、対面参加者は酪農学園大学

講師：

蒔田浩平(酪農大教授)

浅倉真吾(酪農大講師)

Naomi Cogger(マッセイ大学エピセンター長、教授)

和田昌子(マッセイ大学エピセンター研究員)

予定：登録締め切り：2026年6月22日；配布論文学習期間：2026年6月23日–7月21日

参加登録：以下のリンクから登録をお願いします。

[Registration link](#)

WOAH イベントページ

[\[WOAH-CC joint training on translating epidemiological evidence for policy design - WOA - Asia\]](#)